

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控室 TEL 740-1111 (内線4020)
直通FAX 759-1811
黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ <http://kurodamich.exblog.jp>

日本共産党川西市議員団は先ごろ「議会報告・春季号」ピラと一緒に住民の皆様の声をお聴きする「アンケート」用紙をお配りしましたが、それに対して、5月11日現在336枚の回答が寄せられています。ご協力本当にありがとうございます。(引き続き返信受付中です) たくさんのご意見・ご要望、質問をいただいております、現在集計、分析にかかっています。ところが、一部を紹介し、安心・住み良い街づくりを一緒に考えていきたいと思えます。

温かみのある政策を

「市民・人間を大事にする政策。誕生から死まで一生にわたり、特に始めと終わりに温かみ

誰もが安心して住み続けることが

できる街づくりをめざして

(返信333通・FAX2通)

メール1通・・・5月11日現在)

住民アンケートへ336通の 声・声・声



「子ども医療費、他市に比べて高すぎ。小さいうちは病気にかなりやすい。無料にしてほしい」(20代)、「少子化問題を重点に」(70代) などなど。

「血税を大切に使う」

一方で「中央北地区」や大型開発に批判的な声多数。

「妙な開発をして失敗するよ、血税を大切に使うしてほしい」(40代)「開発しても借金を増やすだけ。なぜ、わからないのか」(40代)

「小売店の保護のためにも大型店は良くない。税金の投入の仕方が間違っている」(60代)

「市民病院、介護等に税金が使われるのは承諾する。建物にばかり税金投入するのは許せない」(60代)「もっと情報公開してください」(40代)

「むだを削り福祉の前進を財政が厳しい中で、どんな街づくりをしていくのか。」

「反対ばかりが能ではない」(30代) というご意見も。

「何でも反対、共産党」って本当???

「反対ばかりが能ではない」(30代) というご意見も。 実際は、3月議会で審査された「37議案、8請願」のうち、日本共産党議員団が反対したのは3議案だけでした。(各会派の態度は別表)

反対した1つは、「福祉医療費助成制度を縮小し、市民に負担増を求める」議案。

7月から高齢者に5111万円、障がい者に854万円、乳幼児に982万円、母子(父子)に176万円の負担増(年間約1億円の市民負担増)を押しつけるもの。市民の切望と逆行するため反対しました。

2つ目は「介護保険の要介護認定制度を変更することを含む介護保険の予算」議案。

「たんぽぽだより」79号でお知らせしたように、「介護給付費削減」を目的に要介護度を軽度化させる認定制度改定を含む予算であること。介護従事者の処遇改善のプラス分は、この制度改定で帳消しになるのではないかと危惧されており反対しました。(4月に入り、政府も「認定制度」の不合理を認め、経過措置が取られています)

反対の3つ目は、「一般会計予算」議案。

「財政難」を理由に、高齢者・障がい者・子どもを中心に市民には負担ばかり押しつけながら「中央北地区(皮革城跡地)開発には11億円を投じ、「国崎クリーンセンター」の談合の疑いには触れず、言われるままに巨額を投じるあり方。保育所や学校の建設、支援のあり方、公民館などの有料化など「税金の使い方」が市民の方を向いていないと反対しました。

「患者負担を減らしてほしい。お金がなければ病院に行けなくなる」(30代)「障がい者が安心して生活できない。弱者にもっと良くしてほしい」(40代)

「子どもの医療費、他市に比べて高すぎ。小さいうちは病気にかなりやすい。無料にしてほしい」(20代)、「少子化問題を重点に」(70代) などなど。

「何でも反対、共産党」って本当???

「反対ばかりが能ではない」(30代) というご意見も。

実際は、3月議会で審査された「37議案、8請願」のうち、日本共産党議員団が反対したのは3議案だけでした。(各会派の態度は別表)

反対した1つは、「福祉医療費助成制度を縮小し、市民に負担増を求める」議案。

7月から高齢者に5111万円、障がい者に854万円、乳幼児に982万円、母子(父子)に176万円の負担増(年間約1億円の市民負担増)を押しつけるもの。市民の切望と逆行するため反対しました。

2つ目は「介護保険の要介護認定制度を変更することを含む介護保険の予算」議案。

「たんぽぽだより」79号でお知らせしたように、「介護給付費削減」を目的に要介護度を軽度化させる認定制度改定を含む予算であること。介護従事者の処遇改善のプラス分は、この制度改定で帳消しになるのではないかと危惧されており反対しました。(4月に入り、政府も「認定制度」の不合理を認め、経過措置が取られています)

反対の3つ目は、「一般会計予算」議案。

「財政難」を理由に、高齢者・障がい者・子どもを中心に市民には負担ばかり押しつけながら「中央北地区(皮革城跡地)開発には11億円を投じ、「国崎クリーンセンター」の談合の疑いには触れず、言われるままに巨額を投じるあり方。保育所や学校の建設、支援のあり方、公民館などの有料化など「税金の使い方」が市民の方を向いていないと反対しました。

黒豆のつぎやき

♪たんぽぽ ひらいた まっ黄色にひらいた はなびらとはなびらが につこり()しながらひらいた♪

子どもが一番最初に覚える花たんぽぽ

寒い冬をこえ、春を告げる花 地中深く根をはり 踏まれても摘まれても芽を出す 花が咲き綿帽子が飛んでいく ひとつひとつの綿毛がまた根をおろす

どうして「たんぽぽだより」?と聞かれるたびたんぽぽみたいになれるように・・・と答える

みんながにつこりできるように()

2009年3月定例会 (37議案・8請願) (敬称略)

- ☆37議案のうち、34議案は、全員賛成。
- ☆「福祉医療費助成制度削減」議案は、北上・小西・宮坂・大塚・土谷・住田・黒田の7人が、反対。
- ☆「認定制度の改定」を含む介護保険予算、「一般会計」予算は、共産党の4人が、反対。
- ☆「県立川西高校の募集停止を行わないことを求める」請願、「気候保護法」制定を求める請願(2)は、全員一致で、意見書提出。
- ☆「健康保険法による日雇特別被保険者が当該保険で医療の給付を受けることが出来ない際に福祉医療の助成を求める」請願は、継続。
- ☆「米軍への思いやり予算廃止を求める」請願は、北上・小西、共産党4人の6人が賛成。
- ☆「教育予算増額、ゆきとどいた教育を求める」、「物価に見合う年金引き上げを求める」、「就学前のこどもの医療費無料化を求める」3件の請願は、共産党4人が賛成。他反対。



